



顕彰状を受け取る相馬さん

相馬ステさん100歳おめでとう

相馬ステさん(柏)が11月17日、めでたく満100歳の誕生日を迎え、入所している「えんじゅの里」で盛大に誕生会が行われました。

大正4年生まれの前馬さんは旧車力村出身。亡くなった夫の藤次郎さんと共に稲作を営みながら3人の子どもを育て、孫6人、ひ孫10人に恵まれました。

この日、施設を訪れた市の白戸福祉部次長から顕彰状や記念品が贈られると、お祝いに駆け付けた家族や他の入所者から大きな祝福の拍手を受けました。次男の浩明さんは「母の長寿の秘訣は歯を丈夫に保ち、好き嫌いなく何でも食べること」と話していました。

楽しみながら生涯学習 長寿大学閉講式

長寿大学の閉講式が11月17日、松の館で行われ、155人の“学生”が修了しました。健康増進を大きなテーマに掲げた今年度は、歴史や文化など多岐にわたる6回の講座全てに「笑い」の要素が盛り込まれ、受講者は仲間同士で楽しみながら学習しました。閉講式では、学長の葛西教育長が各地区の代表者に修了証書を手渡し、「魅力ある生涯学習のまちづくりのため、学びの成果を市政運営にお力添えください」とあいさつ。小山内兼一運営委員長が「修了生は地域の皆さんの模範となって健康運動などに取り組み、来年度また元気に再会しましょう」と学生代表の言葉を述べ、修了生全員で「蛍の光」を唱和しました。



修了証書を受け取る地区の代表者(左)



さらなる発展を誓う全校児童

感謝を胸にさらなる発展誓う 瑞穂小創立10周年

平成18年に木造地区の9小学校を統合して誕生した瑞穂小学校が10月25日、創立10周年記念式典を行い、全校児童と関係者らが節目を祝いました。

同校では、10年間で440人が卒業し、現在の児童数は242人。式典で山谷文孝校長は「ここで出会えた全ての人と日々の出来事に感謝を忘れず、より良い未来づくりに努力します」と式辞を述べました。また、学校の発展に尽力した功労者4人に感謝状を贈ったほか、歴代の卒業生や教職員のコメントなどを収めた記念映像を披露。最後に全校児童が声を揃え「これからも感謝の気持ちを忘れず、勉強や運動を頑張ります」とさらなる発展を誓いました。

建設会社が小学校へ本棚寄贈

木造館岡地区の野呂建設が瑞穂小学校(山谷文孝校長)に本棚と児童書を寄贈しました。10月29日、同校において贈呈式が行われ、同社代表取締役の野呂佳代子さんから山谷校長に目録が手渡されました。野呂さんは「地元の将来を担う小学生のみなさんが命の大切さや安全について考えるきっかけにしたい」と話し、絵本「かぜのでんわ」の読み聞かせを行いました。また、同社現場監督の三浦富彦さんが、工事に使われる車両や重機を説明しながら、「工事現場周辺には近づかないで」と安全について呼び掛けました。最後に図書委員長の高橋伯君(6年)が「頂いた本や本棚は、これから大切に活用していきます」とお礼の言葉を述べました。



目録を手渡す野呂さん(右)

毎日のお仕事ご苦労さま

勤労感謝の日を前に11月4日、木造西幼稚園(吉田節子園長)の園児らが市役所を訪れ「毎日のお仕事ご苦労さまです。これからお仕事がんばってくださいね」と市職員に感謝と激励のメッセージを伝えました。

この日は、年長・年中組の園児11人が、手作りのカレンダーやシクラメンの鉢植えなどを福島市長らにプレゼントし、鍵盤ハーモニカの演奏と歌を披露しました。福島市長は「ありがとう。みなさんがたくさん勉強できるように仕事を頑張りますので、みなさんも先生の言うことを良く聞いて、風邪をひかないように頑張ってください」と応え、お礼のお菓子を手渡し園児全員と握手を交わしました。



福島市長に花を手渡し園児



キャラバンメイトの講義に耳を傾ける参加者

認知症を学び地域で支えよう

認知症サポーター養成講座が11月14日、館岡コミュニティ消防センターで行われ、地域住民約100人が参加しました。

今年2月現在、認知症を患う人は全国で503万人、市内でも1700人を超えると推計されています。市では、専門の研修を受けた講師(キャラバンメイト)20人が、認知症の人やその家族を支援する「認知症サポーター」を養成するため、活動を行っています。この日は、5人のキャラバンメイトが講義や寸劇などで、病気に関する正しい知識や患者への心優しい接し方について、分かりやすく説明していました。参加した女性は「高齢化が進み、認知症は現実的な問題になっている。教わったことを生活に生かしたい」と話していました。

市民らが音楽を楽しむ

市内で音楽活動をしている「音^{おと}の会」が10月25日、稲垣公民館で「音を楽しむ会」を開催し、市民ら約100人がバンド演奏やギターの弾き語りなどを堪能しました。同会は、地元子どもたちに生の楽器の音や歌声を聞かせ、音楽の魅力を伝えようと平成9年発足。音楽イベントなどを通して人材育成や地域交流に取り組んでいます。この日は、メンバーが懐かしのヒット曲やオリジナル曲を披露。演奏の合間にはユーモアあふれるトークで会場を沸かせていました。また、同会と親交の深い沖縄県出身の歌手・永山尚太さんがゲストとして駆け付け、「太陽ぬ花」など5曲を熱唱したほか、「つがる市の魅力」をテーマにトークも行いました。



オリジナル曲を披露する「音の会」メンバー



知的財産権の講義を受ける市内の関係者

知的財産の活用で商品力強化を目指す

11月16日、松の館で農林水産業の6次産業化を目指す事業者向けの知的財産権活用講習会が開かれました。知的財産権とは、発明や創作によって生み出されたものを、発明者の財産として一定の期間保護する権利で、商標権や特許権などがあります。この日は、三浦特許商標事務所の三浦誠一弁理士が講師を務め、参加した関係者らは真剣に耳を傾けていました。三浦さんは「商品の信用度を高め、他社の類似品と差別化を図るなど、知的財産権の活用はビジネスの中心になっている」、「知的財産権は日進月歩で制度が変わるので、機会があるたびに講習などで情報を更新したほうがよい」と話していました。

市職員の給与は、国家公務員の給与水準を基本に民間企業などと比較して、職務の内容を考慮した上で、議会の審議を経て市の条例で定められているものです。また、定員管理については、5年ごとに事務量を勘案して定員適正化計画を策定し、人員の適正化を図ります。

(7) 特別職の報酬等の状況 (平成27年4月1日現在)

区 分	給料・報酬月額	期末手当 (26年度支給割合)
市 長	820,000 円	2.95 月分
副市長	650,000 円	2.95 月分
議 長	380,000 円	2.95 月分
副議長	350,000 円	2.95 月分
議 員	320,000 円	2.95 月分

(退職手当)

区 分	(算定方式)	(支給時期)
市 長	給料月額×在職月数×45.5/100	任期毎
副市長	給料月額×在職月数×26.5/100	任期毎

(8) 部門別職員数の状況と主な増減理由

(各年4月1日現在)

区 分 行政部門		職員数		対前年 増減数	主な増減理由
		26年	27年		
一 般	議 会	5	5	—	
	総 務	82	86	4	企画業務増等
	税 務	34	32	△ 2	税業務縮小
	民 生	58	53	△ 5	退職不補充等
	衛 生	24	21	△ 3	保健予防業務縮小
	労 働	2	2	—	
	農林水産	38	34	△ 4	業務縮小等
	商 工	5	5	—	
	土 木	21	20	△ 1	業務縮小
	小 計	269	258	△11	
特 別	教 育	66	61	△ 5	退職不補充等
	消 防	118	114	△ 4	退職不補充
	小 計	184	175	△ 9	
公 営 企 業 等	下水道	8	8	—	
	その他	25	26	1	保健事業業務増
	小 計	33	34	1	
合 計		486	467	△19	
		[582]	[582]	[—]	

※ 1 職員数は一般職に属する職員数です。

2 []内は、条例定数の合計です。

市では、職員の給与と定員管理の適正化について、広く市民の理解を得るため、次のとおり公表します。



(9) 定員適正化計画の数値目標および進捗状況

① 定員適正化目標

(人)

計 画 期 間		数値目標 (平成27年4月1日)	
始 期	終 期		
平成22年4月1日	平成27年4月1日	一般行政	271
		特別行政	
		教育	58
		消防	121
		計	179
		公営企業等	33
		合 計	483

② 定員適正化計画の年次別進捗状況(実績)の概要

(各年4月1日現在)

区 分		22年 計画始動	27年 5年目	(参考) 数値目標
部 門				
一般行政	職員数	346	258	271
	増 減		△ 88(117.3%)	△ 75
教 育	職員数	72	61	58
	増 減		△ 11(78.6%)	△ 14
消 防	職員数	121	114	121
	増 減		△ 7(- %)	0
公営企業 等 会 計	職員数	119	34	33
	増 減		△ 85(98.8%)	△ 86
計	職員数	658	467	483
	増 減		△191(109.1%)	△175

※ 1 計画期間は、22～27年の5年間で、(%)内の数値は、数値目標に対する進捗率を示しています。

2 病院事業移管により数値目標を見直ししています。

市職員の給与・定員管理の状況

(1) 人件費の状況（普通会計決算）

区 分	住民基本台帳人口 (27年1月1日現在)	歳出額A	実質収支	人件費B	人件費率 B/A	(参考)25年度 の人件費率
26年度	35,036人	24,574,972千円	451,355千円	4,112,685千円	16.7%	17.5%

※人件費には、職員の他に特別職（議員、市長、副市長、教育長等）に支給される給料・報酬を含みます。

(2) 職員給与費の状況（普通会計決算）

区分	職員 数A	給 与 費				1人当りの 給与費 B/A
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計B	
26 年度	452 人	1,841,116 千円	230,540 千円	663,702 千円	2,735,358 千円	6,052 千円

※職員手当には退職手当を含みません。

(3) 職員の平均年齢、平均給料月額および平均給与月額の状況（平成27年4月1日現在）

① 一般行政職

区 分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
つがる市	48.3歳	350,221円	377,210円

② 技能労務職

区 分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
つがる市	53.7歳	348,948円	367,406円

③ 消防職

区 分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
つがる市	38.8歳	286,079円	345,355円

(4) 職員の初任給の状況（平成27年4月1日現在）

区 分		つがる市	国
一般行政職	大 卒	174,200円	174,200円
	高 卒	142,100円	142,100円
技能労務職	高 卒	139,500円	—
	中 卒	127,700円	—
消 防 職	大 卒	167,000円	—
	高 卒	146,000円	—

(5) 一般行政職の級別職員数の状況（平成27年4月1日現在）

	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級
標準的な 職務内容	主 事	主 査	主係 幹長	総課 長補 佐	副課 参 事長	参次 事長	理部 事長
職員数(人)	19	15	50	75	122	11	9
構成比(%)	6.3	5.0	16.6	24.9	40.5	3.7	3.0

※1 つがる市の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数です。
2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務です。

(6) 職員の手当の状況

① 期末手当・勤勉手当

(26年度支給割合)	
期末手当	勤勉手当
2.50月分	1.45月分
(1.40)月分	(0.70)月分
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算（5～15%）	

※()内は、再任用職員に係る支給割合です。

② 退職手当（平成27年4月1日現在）

支給率	自己都合	応募認定・定年
勤 続 2 0 年	20.445月分	25.55625月分
勤 続 2 5 年	29.145月分	34.5825月分
勤 続 3 5 年	41.325月分	49.59月分
最 高 限 度 額	49.59月分	49.59月分
1人当たり平均支給額	—千円	20,392千円
その他の加算措置	定年前早期退職特例措置 (2～45%加算)	
退職時特別昇給	なし	

※退職手当の1人当たり平均支給額は、前年度に退職した職員に支給された平均額です。

③ その他の手当

手当名	内容および支給単価
扶 養 手 当	・配偶者13,000円 ・配偶者有(扶養手当無)の1人目6,500円 ・配偶者無の1人目11,000円 ・2人目以降6,500円 ※満16歳～22歳までの子1人につき5,000円加算
住 居 手 当	借家、借間 限度額 27,000円
通 勤 手 当	・バス等交通機関利用者 限度額 55,000円 ・片道2km以上自動車等利用者2,000円～46,000円
管理職手当	・管理または監督の地位にある職員 部長：25,000円～所長：10,000円
管 理 職 員 特別勤務手当	・管理または監督の地位にある職員が週休日、 休日等に勤務したとき 4,000円～6,000円
時 間 外 勤 務 手 当	・正規の勤務時間外に勤務する職員 平日単価×125/100(1時間当たり) 平日外単価×135/100(1時間当たり) (午後10時から翌日午前5時まで25/100加算)
休 日 勤 務 手 当	・休日等に勤務する職員 単価×135/100 (1時間当たり)
夜 間 勤 務 手 当	・正規の勤務時間として午後10時から翌 日午前5時まで勤務する職員 単価×25/100 (1時間当たり)
宿日直手当	・宿日直業務をした職員 4,200円